

議奏

【ぎそう】

- (1) 政事を議定し、天皇に奏上すること。
- (2) 1185年、後白河院に対して、源頼朝が親幕派の公卿一〇名を推挙して、朝廷に置いた職名。政務を合議させ、朝政にあたらせた。
- (3) 江戸時代、朝廷に置かれた職。天皇に近侍し、口勅を公卿以下に伝え、上奏を取り次いだ。

- 幕末辞典 -